



ASAHI University News Letter

vol.144

March 2023

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部



朝日大学HP

「2023年度事業計画」決まる

「2023年度朝日大学事業計画」が、学校法人朝日大学理事会において決定されました。

「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし、宮田淳理事長のもと、大友克之学長をはじめとする全教職員が一丸となって事業計画の取り組みがスタートします。



陽だまりの中、穂積キャンパス中庭に「ほづみの森こども園（瑞穂市）」の園児たちがやってきました。

「建学の精神」に基づき「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざす

2023年度事業計画決まる

2023年度の事業計画が、本年1月の理事会で決定されました。

建学の精神「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間の育成」に基づき、次世代を担う若者の夢の実現に向け、教育の質の向上を図り、社会の多様な変化に対応できる有為な人材の育成に全力で取り組んでいくことになります。

朝日大学では、次のとおり事業計画の基本方針を掲げています。



2023年度事業基本方針を述べる宮田淳理事長

1 優秀な学生の受け入れ

- ・全学部・学科における入学定員及び収容定員の継続的な充足
- ・充実した教育研究活動、学生支援等に基づく効果的な広報活動等の実施
- ・入学者選抜方法の充実
- ・全学部・学科における入学予定者への入学前教育の実施並びに高等学校と連携した入学前教育の実施
- ・入学者選抜実施体制の充実・強化のためのアドミッション・オフィサーの配置並びに同オフィサーの入試・学生募集に係る全学的な企画立案、入学者選抜についての妥当性の検証及び選抜方法改善への参画

2 教育・研究活動の質の保証と向上(大学全体の取組)

- ・教育の質の保証と向上に資する活動
- ・ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づく初年次教育(建学の精神と社会生活、情報リテラシー等)の実施
- ・人権教育推進委員会における人権教育と人権擁護の推進並びに教職員と学生への研修・教育の実施
- ・教養教育の授業内容・方法等の改善及び充実
- ・地方教育懇談会の実施
- ・大学情報の発信
- ・IR推進本部による入試、学生、教学等に関する情報収集・分析の実施及び公表並びに教育活動改善への活用、明海大学とのIR推進を図るための連携の推進
- ・研究活動の推進(学内奨励金による研究支援及び外部資金の獲得支援)
- ・認証評価の受審並びに結果の検証及び公表
- ・明海大学、三重大学及び名桜大学との協定に基づく活動(学生・教職員の交流等)の実施
- ・朝日大学発ベンチャー企業の設立の継続検討

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献

- ・地域貢献(高等学校との連携、産業界・大学・自治体等との連携、SDGsに基づく取り組みの推進、知的財産の還元)
- ・教育後援会・同窓会との連携強化
- ・三医療機関(大学病院、医科歯科医療センター、PDI岐阜歯科診療所)による社会貢献

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

- ・学生の国際化の推進(海外提携大学との相互交流の実施等)
- ・教職員の国際化の推進(海外留学支援、積極的な海外派遣等)
- ・地域の国際化への貢献(地元の国際交流イベントへの参加促進等)

5 学生支援の充実

- ・学修・課外活動支援(奨学金の給付、海外研修の実施等)
- ・学生生活支援(三医療機関の診療費補助、食堂の充実等)
- ・就職支援(各種支援事業の推進、AGOにおける就職支援等)
- ・留学生支援(地元企業との連携強化)

6 社会人の学び直し支援の充実

- ・生涯研修センターにおける社会人の学び直し支援に係る講座の実施(英会話プログラム、医療経営士養成講座、市民講座「エクステンション・カレッジ」等)
- ・歯科医師生涯研修センターにおける明海大学との連携による歯科医師及び歯科衛生士への生涯教育の推進
- ・歯科衛生士への学び直し支援プログラム開講に向けての体制整備の検討
- ・看護師への学び直し支援プログラム開講に向けての体制整備の検討

7 施設・設備の充実

- ・医科歯科医療センターの大規模改修工事の実施
- ・大学病院の新棟建設に向けた実施設計の策定
- ・教育充実のための設備の整備
- ・体育会の施設・設備の充実及び計画的な改修工事の実施
- ・三医療機関の計画的な設備の整備
- ・学生の要望や障害のある学生に配慮した快適なキャンパスライフを送るための中庭等の改修工事の実施
- ・建物等施設設備の計画的な改修工事(省エネ化の推進)の実施

8 法人運営の基盤強化

- ・長期収支の見通しとバランスを考慮した確実な事業計画遂行のための予算編成
- ・全学部・学科等における収容定員の充足による安定的な経営
- ・事業計画の着実な実行による経常費補助金の確実な獲得の推進
- ・安全性・確実性を考慮した資産運用の実施
- ・学校教育の支援に資する収益事業の実施
- ・三医療機関における地域医療の充実を図るための安定的な経営
- ・科学研究費助成事業、受託研究費等の外部資金獲得の推進
- ・事業計画を推進する合理的な組織の整備及び人財の育成
- ・国の政策、教育活動収支の均衡等を考慮した適正な学納金の設定に向けた継続的な検討
- ・学校法人朝日大学ガバナンス・コードを遵守した自律的な法人運営

教職員の資質向上が不可欠

教育職及び事務職の役職者等を対象としたSD研修会が開催され、宮田淳理事長、大友克之学長から「2023年度事業計画」と「2023年度予算」について詳細に解説されました。

出席者たちは、建学の精神に基づき、より一層の大学改革の推進、組織力の強化と教職員の資質向上を図ることが「魅力ある大学、選ばれる大学」につながるものであるとの認識を深めました。



大友学長らが講師を務める

新役職者決まる

今年3月末日の役職者の任期満了にともない、理事会において新役職者等が選任（再任、任期中の役職者を含む）されました。

「魅力ある大学、選ばれる大学」をめざし、大友克之学長、森下伊三男副学長、田村康夫副学長、江尻貞一副学長を中心とした新執行部体制がスタートします。

学長 大友 克之	副学長、生涯学習センター長 森下 伊三男
副学長、产学官連携共同研究推進本部長 田村 康夫	
副学長、IR推進本部長 江尻 貞一	学生部長 都尾 元宣
図書館長 大野 正博	情報教育研究センター長 産業情報研究所長 矢守 恒子
英語教育センター長 野畠 伸芳	体育会長 山本 英弘
スポーツ支援センター長 高橋 幸平	法学部長、大学院法学研究科長 杉島 正秋
経営学部長 小畠 信史	大学院経営学研究科長 板谷 雄二
経営学科長 荒深 友良	マーケティング研究所長 中畑 千弘
保健医療学部長 小島 孝雄	看護学科長 須賀 京子
健康スポーツ科学科長 竹島 伸生	歯学部長、大学院歯学研究科長 玉置 幸道
朝日大学病院長 日下 義章	医科・歯科医療センター長 藤原 周
PDI岐阜歯科診療所長 堀田 正人	教職課程センター長 虫賀 文人
留学生別科長 松井 かおり	歯科衛生士専門学校長 磯崎 篤則
健康管理センター長 塚原 隆司	事務局長 田中 聰

沖縄県スポーツ協会との連携・協力

沖縄県のスポーツ発展に向けて

公益財団法人沖縄県スポーツ協会と朝日大学は、地域の発展と競技スポーツの振興のため相互に協力することを目的として、2022年11月8日に沖縄県体協スポーツ会館（那覇市）において、沖縄県スポーツ協会理事長の渡嘉敷通之様と大友克之学長が、「連携・協力に関する協定」を締結しました。

今後は協定内容を達成するために、定期的な情報交換や連携事業の実施をはじめ、「ふるさと代表選手制度」の活用、本大学体育会クラブによる強化合宿の実施協力、指導者向けの研修会への講師派遣などを計画・実施していきます。



沖縄県スポーツ協会と朝日大学が連携・協力協定を締結

歯愛メディカルと 産学連携活動に関する協定締結

産学連携活動を推し進める

（株）歯愛メディカルと朝日大学は、両者の包括的な連携のもと、寄附講座、講演会等の開催、共同研究および産学連携活動の推進を目的として、2022年12月14日に穂積キャンパスにおいて、本大学歯学部卒業生（9期生）で同社代表取締役社長の清水清人先生と大友克之学長が「産学連携活動に関する協定」を締結しました。



産学連携活動に関する協定を締結

記念講演会を開催

また、今回の連携協定締結を記念して、医療法人健康みらい理事長の中島美砂子先生と医療法人樹翔会理事長の田中宏幸先生による記念講演会が、歯学部FD研修会を兼ねて開催されました。「歯髄再生治療」をテーマとした講演会には、教職員、大学院生、研修歯科医など約100名が参加、熱心に両先生の講演を聴講とともに、活発な質疑応答が行われ、実りある講演会となりました。



健康みらい理事長・中島先生の講演

山田客員教授が臨床細胞学会で講演

口腔の健康が全身に及ぼす影響

「第61回日本臨床細胞学会秋季大会」が、2022年10月31日に宮城県総合文化センター（仙台市）で開催され、本学客員教授で参議院議員の山田宏先生が、要望講演「国民皆歯科健康時代の口腔がん検診と細胞診」と題する講演を行いました。

山田先生は、口腔の健康が全身に及ぼす影響や、口腔がんの現状について紹介されるとともに、政府の骨太方針である「国民の健康増進・国民皆保険制度の維持」に触れられ、生涯を通じた歯科検診の必要性とその方法論について解説されました。

山田先生の講演実現にあたっては、本大学歯学部（口腔病理学）の永山元彦教授が同学会のプログラム委員として尽力されました。



山田先生が要望講演の講師を務める

岐阜県立池田高校で大友学長が講演!

「ふるさと教育」

岐阜県立池田高等学校の「池田町キャリア教育講演会」で、2022年12月21日に大友克之学長が講演を行いました。

同講演は、予測困難な時代を主体的に生きるために求められる力と、その育成に必要な学びについて知るために、グローバルな視点に立ち地域社会の課題を見つけ、探究活動の意義や取組み方を理解し、社会に貢献できる人材の育成を目的として、池田高校が開催した講演会です。

大友学長は、「未来への扉 -持続可能な地域社会に貢献できる人材とは?」と題して、約430名の生徒に「0 to 1の発想、広い視野と豊富な知識、多様性を受け入れるやさしい心-国際理解について」の3つの視点から講演を行いました。



池田高校で大友学長が講演

教職課程センターリニューアルオープン

教職課程履修者を支援

穂積キャンパス5号館に教職課程センターが2022年9月にリニューアルオープンしました。

本センターは、教職を志す学生たちが、将来の教員像を描きながら、教員としての資質・能力の向上を目指して自学自習できる施設です。



穂積キャンパス正面玄関で記念撮影

海外の歯学部学生を受け入れ

メキシコ州立自治大学（メキシコ）から

本大学の姉妹校であるメキシコ州立自治大学から、学生相互交流として歯学部学生10名と教員2名を2022年9月26日～29日の期間に受け入れました。

一行は、本大学で「シムロイドやシモドント」を用いた実習や研修を行うとともに、京都の金閣寺や清水寺を訪れ、日本の歴史と文化を学びました。



穂積キャンパス正面玄関で記念撮影

シエナ大学（イタリア）から

本大学との文化学術交流協定校を締結しているシエナ大学から、短期研修学生として歯学部学生2名と教員1名を2022年12月10日～14日の期間に受け入れました。

一行は、本大学で「バーチャルシミュレーション」の体験実習に取り組み、「日本の文化や朝日大学」の講義を受講すると共に、本大学体育会相撲部の道場を訪問するなど、日本の歴史と文化を学びました。



穂積キャンパス相撲道場にて

南昌大学（中国）から

日本とアジアの科学技術の発展と青少年の交流を目的とし、日本の科学技術分野での最先端技術を紹介することで、世界の優秀な青少年を短期的に招へいする交流事業「さくらサイエンスプログラム」（国立研究開発法人科学技術振興機構）の支援を受けて、南昌大学から、歯学部学生8名と教職員2名を2022年12月2日～9日の期間に受け入れました。

一行は、同プログラムの研修テーマ「高齢社会における歯科治療法と最先端技術の習得」に取り組むとともに、関市の刀鍛冶伝承館などで刃物の伝統を体験し日本文化に触れました。



医科歯科医療センターで研修

プロジェクターや電子黒板などのICT機器が設置されたセンターでは、自身の模擬授業を録画・省察することができます、教員採用試験対策の面接指導や小論文指導の場として、連日、多くの学生が熱心に勉学に励んでいます。

併設されたTPO (Teaching Profession Office)には教職課程センターの教員が常駐して、学生の質問や相談にいつでも気軽に対応できる態勢となっています。



自習室で先生の指導を受ける学生

European-Japanese Cerebrovascular Congress

「10th European-Japanese Cerebrovascular Congress (第10回ヨーロッパー日本脳血管コングレス)」が京都大学芝蘭会館(京都市)で2022年11月13日~16日に開催され、本大学歯学部(総合医科学講座外科学分野:脳神経外科部)の郭泰彦教授が共同会長を務めました。

同学会は、本来2020年に開催の予定でしたが、コロナ禍で延期を余儀なくされていました。この難しい時期の開催にも関わらず、日欧の脳血管障害の外科的治療の専門家が多数集い、非常に意義のある学会となりました。

学術的レベルが高いと好評価

参加者からは、「今まで一番印象深かった」との感謝の声が寄せられ、研究者間の友好を一層深められたことはもちろん、学術的にも非常にレベルが高かったとの評価を得ました。次回は2024年にウイーンで開催することを約束して、盛会裏にコングレスを終えました。



一堂に会した関係者

「日本社会医学会 奨励賞」を受賞!!

本大学保健医療学部看護学科(公衆衛生看護学講座)の加藤輝助手が、「第63回日本社会医学会総会(2022年8月27・28日)」において、「日本社会医学会 奨励賞」を受賞されました。

「過疎地域在住高齢者の地域への愛着に関連する要因」の研究発表が高く評価されたことによるものです。

加藤先生の、今後のさらなる研究の発展が期待されます。



「奨励賞」受賞の加藤先生(中央)

「文部科学省」から表彰!!

令和4年度の医学教育等関係業務功労者として、朝日大学病院看護部(准看護師)の堀育子さんと、医科歯科医療センター放射線室(診療放射線技師)の岩田哲成さんが表彰されました。

この表彰は、大学における医学又は歯学に関する教育、研究若しくは患者診療等に係る補助的業務に関し、顕著な功績のあった者を表彰することで、関係職員の士気を高揚し、医学又は歯学教育の充実向上を図ることを目的としたものです。

「日本人間工学会東海支部 研究大会」で受賞!!

本大学穂積キャンパス6号館において「日本人間工学会東海支部2022年研究大会」が2022年10月29日に開催されました。

同研究大会では保健医療学部健康スポーツ科学科の教員のほか、同学科の学生たちも研究発表を行い、「SDGs/SEGs達成に向けたプロジェクト改善エルゴノミクソン」部門では、プレゼンター(発表者)を務めた健康スポーツ科学科4年生の山本笑太郎さんのグループが「ユニーク発表賞」を受賞しました。

この研修大会を通じて、健康スポーツ科学科学生の研究成果が社会に発信される第一歩となりました。



学生たちが「ユニーク発表賞」を受賞

「講演と懇親の会」を開催

就職対策の一環として開催

「朝日大学主催 講演と懇親の会」が、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋(名古屋市)において、2022年10月25日に開催されました。同会は、本学学生の就職対策の一環として毎年開催される行事で、各企業の人事採用担当者をお招きして、日頃の本大学に対する就職支援への感謝と、本学教職員とのより一層の人事交流を深めていただくことを目的として開催されています。本年は愛知県、岐阜県などの企業を中心に、約120名の人事担当者が参加されました。

講演の講師を務めた保健医療学部健康スポーツ科学科の林卓史准教授は、「デジタル世代へのコーチング -朝日大学、慶應義塾大学での指導を通じて-」と題して、デジタル世代への指導の在り方、コミュニケーションの取り方などを解説。参加者たちは熱心に耳を傾けメモを取っていました。



「デジタル世代へのコーチング」を語る林准教授

入院患者さんに膝掛けをプレゼント

朝日大学病院(岐阜市橋本町)では、病院で年末を迎えるを得ない入院患者さんへ、毎年クリスマスプレゼントを贈っています。

この行事では、本院とかかわりのある森プリント(株)社長(本社:岐阜県羽島郡笠松町米野)の森典義氏、本大学の客員教授で、いちだクリニック院長(岐阜市清本町)の市田正成先生のご好意により、膝掛け等が患者さん一人ひとりに贈られました。

例年は、サンタクロースに扮して患者さんに直接渡していましたが、今回もコロナ禍のため、看護師から患者さんへの手渡しとなりました。患者さんは「お身体、大事になさってください」と書かれたメッセージカードを見て、心がなごみ笑顔を見せていました。

非行や犯罪からの立ち直り支援を考える

社会全体での支援が不可欠

穂積キャンパス6号館で、2022年12月14日に朝日大学法制研究所主催の「非行や犯罪からの立ち直り支援を考えるトークイベント」が開催されました。

少年院に収容された少女のドキュメンタリー映画「記憶」の映画監督の中村すえこ氏、映画制作の協力者である高坂朝人氏（「自立準備ホーム」の全国組織代表）をお迎えし、本大学法医学部の大野正博教授（刑事法）がコーディネーターを務めたトークイベントでは、「誰一人取り残さない社会への実現へ向けて～非行や犯罪からの立ち直り支援について考える～」と題し、加害者にも被害者にもならないために、社会はどうあるべきなのかを約100名の学生たちといっしょに考えました。



立ち直り支援を考えるトークイベント

大学での学びが生かされる

「サポーター賞」を受賞

東海発アントレプレナーシップ教育・起業家支援プログラムの一環として2022年11月12日に「栄養サポートチョコ」をプレゼン「なごやキャンパス体育館（名古屋市）」で、学生チーム60組が参加し「Tongaliアイデアピッチコンテスト2022」が開催されました。

事業化できそうなアイデアが数多くある中で、本大学経営学部でマーケティングを学ぶ学生による「世界の患者のタンパク質不足、カロリー不足を菓子事業で解決する」と題したプレゼンテーションは審査員、サポーター企業からの高い評価を受け、「三菱商事賞、JR東海賞、OKB賞」の3賞をみごと受賞しました。

プレゼンテーションで披露された「栄養サポートチョコ」は、その後コンビニ大手のローソン7店舗（岐阜県内）にて発売されています。



研究発表で「準優勝」に輝く

NS物流研究会が主催し、日本トラック協会と物流ニッポン新聞社が後援する「第14回物流関連ゼミ学生による研究発表会（2022年11月19日オンライン開催）」において、本大学経営学部の土井義夫研究室学生チームが「物流企業におけるピクトグラムの活用案」と題した発表で、準優勝に輝きました。

同発表会は、各大学の物流ゼミが、物流業界の抱える諸問題を分析して、解決策の提案を大学対抗形式で発表するもので、本大学のほか神奈川大学、流通科学大学、東京海洋大学、城西大学、福岡大学からの参加がありました。



「準優勝」に輝いた土井チーム

4県の歯科医師会会长が集う！

本大学歯学部卒業生から、都道府県の歯科医師会会长に4名が、また日本歯科医師会代議員に11名が選出されるなど、全国各地で活躍されています。

2022年11月19日に、歯学部同窓会主催の「4県歯科医師会会长・日本歯科医師会代議員を囲む会」がホテル阪急インターナショナル（大阪市）で開催され、本大学から田村康夫副学長・歯学部長が出席しました。

田村副学長からは、50周年を迎えた朝日大学の今について、また歯学教育では近年、多くの卒業生・国家試験合格者を輩出し、教育効果が著しく上がっている現状についての報告がありました。

先生方の更なるご活躍をお祈りいたします。



写真は、左から松本 侯 徳島県歯会長、田村康夫副学長、中嶋正人 歯学部同窓会会长、重城正敏宮崎県歯会長、内田朋良島根県歯会長、大杉和司三重県歯会長

コミュニティ経営プロジェクト成果報告会を開催

瑞穂市役所庁舎内で2022年10月18日に、大学院経営学研究科（プロジェクトリーダー：畦地真太郎教授）と、瑞穂市の入庁1～2年目の若手職員による共同研究「コミュニティ経営プロジェクト」成果発表会が開催されました。

同プロジェクトでは、2021年10月から2022年9月の1年間にわたり、コミュニティ心理学や社会システム論の基礎的な知識を学ぶことからスタートし、将来（30年後）の瑞穂市のあるべき姿を自ら問題設定し、研究を進めました。

将来の瑞穂市のあるべき姿とは

2チームに分かれて行われた研究では、第1チームが瑞穂市を「子育て世代に住みよい都市」とすることで将来にわたり人口増加を目指すこと、第2チームは今ある自治会の力を活用しつつ個々の負担軽減を目指し「より良い市民協働」が行えるようにする方策を、それぞれ研究し、成果報告を行いました。



成果報告会の様子

「内閣総理大臣賞」を受賞!

古田肇 岐阜県知事に報告

本大学法学部の学生による自主防犯ボランティア団体「めぐる」に、2022年10月12日に総理大臣官邸で開かれた「安全・安心なまちづくり関係功労者表彰式」において、岸田文雄首相から「内閣総理大臣賞」が贈られました。

今回の受賞は、同団体が日頃から取り組んでいる活動、地域見守り活動「散歩レンジャー」、瑞穂市と共同で行う「青バト活動」、岐阜県警察本部から委嘱された「サイバー防犯ボランティア活動」など多岐にわたる地域の安全・安心を守る諸活動が、高く評価されました。



古田知事(右から2番目)に受賞を報告

更生保護活動で表彰

本大学法学部刑事法ゼミの学生で組織し、更生保護活動を行うボランティア団体「朝日大学BBS会」が、2022年11月30日に関市文化会館(関市)で行われた「令和4年度岐阜県更生保護事業関係者顕彰式典」において、「岐阜県保護観察所長感謝状」と「岐阜県BBS連盟会長賞」を受賞しました。

「BBS」とは、約100年前にアメリカで始まった「Big Brothers and Sisters Movement」に由来し、様々な問題を抱える少年少女に対して兄や姉のような身近な存在として接することで、問題解決や成長を支援する青年ボランティア団体です。



表彰を受けた学生達

ホッケー

岐阜朝日クラブ

全日本社会人選手権ホッケー選手権大会で3連覇達成
(東京・大井ホッケー競技場、2022年10月16日)

高円宮杯2022ホッケー男子日本リーグ(H1)で準優勝
(栃木・今市青少年スポーツセンター、2022年11月13日)

ラグビー部が自治会とスクラン

下穂積自治会と合同防災訓練

本大学体育会ラグビー部が、大学周辺地域である瑞穂市下穂積自治会と合同の防災訓練を2022年10月10日に行いました。

訓練当日は、サモア、トンガ、ベトナム、ブラジルをはじめ国内外から集うラグビー部の部員と自治会の皆様約70名が参加して、「警戒レベル3の水害発生」を想定し、要救助者を車イスに乗せ、声をかけつつ避難所となる本大学までの誘導を行うなど、参加者全員で災害に備えました。

今回の合同訓練の実施は、NPO法人レスキューストックヤード代表理事で同自治会の防災委員を務める栗田暢之氏の発案・発起によるもので、約100名が居住するラグビー寮がある同地区での地域住民と学生の交流を深め、もしもの時には相互に協力して災害に立ち向かえるようにとの思いから行われました。

参加したサモア出身の留学生は、「一緒に訓練ができるて良い経験となった。災害が発生したらみんなで協力していきたい」と話していました。



ラグビー部員が地域住民を車イスで誘導

護身術を学ぶ

防犯意識の向上と心身の安全確保

本大学学生部主催の「護身術研修」が、穂積キャンパス体育館で2022年11月17日に実施されました。

この研修は、日没時間が早くなる秋から冬にかけ、各種事故や犯罪に巻き込まれないようにするための注意喚起を行うとともに、女子学生等が犯罪被害に遭うことを防ぎ、護身術を学ぶことで防犯意識の向上と心身の安全確保を図ることを目的として行われました。

全国警察逮捕術大会で2位の経験を有する岐阜県警教養課の加藤隼人氏を講師に迎え、最近の不審者情報や一人歩き等の注意事項の解説に引き続き、護身術による不審者撃退法について実技を交えた研修が行われ、約50名の女子学生が教職員とともに熱心に学びました。



不審者に腕をつかまれた時の対応を実践

NEWS

創立52周年記念植樹

朝日大学では、本年1月19日で創立52周年を迎えました。

これを記念して、穂積キャンパス総合グラウンド野球場西側にて「記念植樹」が行われました。

大友克之学長の挨拶の後、出席した教職員の手により本大学が一層たくましく発展・成長することを祈って、記念樹の「ソヨゴ」が植樹されました。



本大学のさらなる発展・成長を願い、記念植樹を行った

聴衆を魅了!!

「鎌倉殿の13人」のメインテーマを演奏

体育会吹奏楽部の「第3回定期演奏会」が2022年11月23日に、サラマンカホール(岐阜市)で開催されました。

第一部と第二部の演奏会では、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、岐阜県吹奏楽コンクール金賞受賞曲「宇宙の音楽」、「ジョジョの奇妙な冒険」メインテーマ曲、不朽の名作「ウエスト・サイド・ストーリー」などが披露され、約500名の聴衆を魅了していました。

「ローズパレード」に出席

また、同部は、「岐阜県選抜マーチングバンド」の一員として、アメリカ・カリフォルニア州パサディナ市で本年1月2日に開催された「第134回ローズパレード」に出席し、大歓声の中、みごとなパフォーマンスを披露しました。



全米に放映されたパレード
写真提供:日米グリーンバンド協会

ウクライナ支援プロジェクト

岐阜県国際交流団体協議会を訪問

本大学の留学生別科日本語研修課程で学ぶウクライナ人学生3名と大友克之学長が、2022年11月17日に岐阜県国際交流団体協議会の杉山幹夫会長を表敬訪問しました。

留学生からは、ウクライナ情勢の説明や自己紹介があり、杉山会長からは「縁あって岐阜に来られたので、家族や祖国のことは心配でしょうが、岐阜の地で有意義な学生生活を送ってください」と、ねぎらいの言葉がかけられました。



杉山会長(左から3番目)と記念写真

脊椎センターを開設

2022年9月、朝日大学病院(岐阜市橋本町)に脊椎脊髄領域に専門性を有している医師を中心に診断および治療によって、より高水準な医療を提供できるように、「脊椎センター」が開設されました。

一人ひとりに寄り添う治療を

腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、胸髄症などの、脊椎疾患を中心いて診療しています。また、一人ひとりの症状に応じて、脊椎センターだけではなく、脳神経外科、神経内科、麻酔科、看護部、放射線部、リハビリテーション部などとの連携協力により、専門的かつ横断的な臨床知識を活用し適切な治療を、そして、寄り添う治療ができるように努めています。

腰痛、頸部痛、四肢の痛みや痺れ、両手の巧緻機能障害(箸が使いにくい、ボタンが留めにくいなど、手指で細かい動作ができにくくなること)、歩行障害など、脊椎を起因とする症状の疑いがある場合は、ぜひご相談を。



脊椎センターでの手術の様子

「2022国際交流の集い」を開催!

ハラールのお弁当を受け取る

穂積キャンパス6号館スクーデントラウンジで、2022年12月20日に「2022国際交流の集い」が開催されました。

お弁当を取りに来た約80名の留学生たちは、(株)バローホールディングス様からのお弁当や、HANAMAZA PAN様からのハラールのお弁当を受け取ると、彩り鮮やかな特製お弁当をさっそく頬張り、楽しそうにひと時を過ごしていました。

この集いは、本大学の外国人留学生や外国人教員、教職員、学生間の相互の親睦を深めることを目的として毎年開催されている催事ですが、コロナ禍のため今年度はお弁当の配布にとどめました。



お弁当を受け取る留学生



おいしそうにお弁当を食べる留学生